



## はじめに

GIGAスクール構想による1人1台端末の本格的な利活用が2年目に突入しました。個別最適な学びと協動的な学びの実現に向けて、ICTを授業等において積極的に活用していくことが求められています。児童生徒がICTをツールとして十分に活用していくためには経験が必要ですし、私たち教師の指導力向上も必要です。ICTの活用が全てではありませんが、「変化する時代を生きる子供たちに必要な力」を育むことが教育の役目だとするならば、このICT活用もその力の一つだと考えます。

本号では、新たに公開された教育の情報化に役立つ情報等の概要を掲載しました。各学校現場での研修や授業等において活用していただければと思います。なお、詳細については誌面にある2次元コードから出典元にアクセスし、確認をお願いします。

## 第3期みやぎの教育情報化推進計画が公表

令和4年4月27日、第3期みやぎの教育情報化推進計画（以下、「計画」という。）が公表されました。第2期計画の策定から約5年が経過し、文部科学省において「GIGAスクール構想」が発表される等、教育環境は大きく変化しました。また、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたオンライン学習やハード整備の進展など、教育の情報化の動きが加速している状況の中、ICTをこれまで以上に有効活用し、より一層の学習の質の向上を目指していく必要があります。

そうしたことを踏まえ、今回の計画は、新学習指導要領の実現を目指すとともに、「GIGAスクール構想」公表以後の国の施策や動向なども踏まえた内容として策定されました。

計画は7つの基本方向とそれに連なる計19の取組等で構成されています。計画の特色として「教科等の指導におけるICTの活用」と「教員のICT活用指導力の向上」の2点は今後ますます重要になってくるとの認識のもと、研修や好事例の共有等に、県として特に力を入れて取り組んでいくことが示されました。その他、概要版・個別政策一覧も公表されております。是非、ご覧ください。

**目標**  
変化する時代を生きる子供たちに必要な力を育む学びの実現

**基本方向1 情報活用能力の育成**  
概要 学習活動において適切に情報を活用することや、必要となる情報技術の基本的な能力の習得等、学習の基盤となる能力の育成を図る  
取組1 資質・能力の三つの柱  
取組2 情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント  
取組3 学校における情報モラル教育 取組4 プログラミング教育の推進  
取組5 教科等の指導におけるICTの活用 取組6 特別支援教育におけるICTの活用  
取組7 教員のICT活用指導力 取組8 教員の研修 取組9 教員の採用  
取組10 ICT活用による働き方改革 取組11 統合型職務支援システム  
取組12 安定した通信環境の整備 取組13 各種機器等整備  
取組14 先端技術の活用 取組15 教育情報化セキュリティ  
取組16 学校の役割 取組17 外部資源の活用  
取組18 外部資源の活用

**基本方向2 教科等の指導におけるICTの活用**  
概要 各教科の特質を活かし教科等横断的な観点から適切な学習場面でのICTを活用し、情報活用能力の育成を図る  
取組1 資質・能力の三つの柱  
取組2 情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント  
取組3 学校における情報モラル教育 取組4 プログラミング教育の推進  
取組5 教科等の指導におけるICTの活用 取組6 特別支援教育におけるICTの活用  
取組7 教員のICT活用指導力 取組8 教員の研修 取組9 教員の採用  
取組10 ICT活用による働き方改革 取組11 統合型職務支援システム  
取組12 安定した通信環境の整備 取組13 各種機器等整備  
取組14 先端技術の活用 取組15 教育情報化セキュリティ  
取組16 学校の役割 取組17 外部資源の活用  
取組18 外部資源の活用

**基本方向3 教員に求められるICT活用指導力等の向上**  
概要 ICTの活用や情報活用能力の育成のために、教員のICT活用指導力の向上を図る  
取組1 資質・能力の三つの柱  
取組2 情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント  
取組3 学校における情報モラル教育 取組4 プログラミング教育の推進  
取組5 教科等の指導におけるICTの活用 取組6 特別支援教育におけるICTの活用  
取組7 教員のICT活用指導力 取組8 教員の研修 取組9 教員の採用  
取組10 ICT活用による働き方改革 取組11 統合型職務支援システム  
取組12 安定した通信環境の整備 取組13 各種機器等整備  
取組14 先端技術の活用 取組15 教育情報化セキュリティ  
取組16 学校の役割 取組17 外部資源の活用  
取組18 外部資源の活用

**基本方向4 学校の情報化（ICT活用による働き方改革）**  
概要 ICTを活用した働き方改革の推進を図る  
取組1 資質・能力の三つの柱  
取組2 情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント  
取組3 学校における情報モラル教育 取組4 プログラミング教育の推進  
取組5 教科等の指導におけるICTの活用 取組6 特別支援教育におけるICTの活用  
取組7 教員のICT活用指導力 取組8 教員の研修 取組9 教員の採用  
取組10 ICT活用による働き方改革 取組11 統合型職務支援システム  
取組12 安定した通信環境の整備 取組13 各種機器等整備  
取組14 先端技術の活用 取組15 教育情報化セキュリティ  
取組16 学校の役割 取組17 外部資源の活用  
取組18 外部資源の活用

**基本方向5 学校におけるICT環境整備**  
概要 「令和の日本型学校教育」等に相応しい環境整備を図る  
取組1 資質・能力の三つの柱  
取組2 情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント  
取組3 学校における情報モラル教育 取組4 プログラミング教育の推進  
取組5 教科等の指導におけるICTの活用 取組6 特別支援教育におけるICTの活用  
取組7 教員のICT活用指導力 取組8 教員の研修 取組9 教員の採用  
取組10 ICT活用による働き方改革 取組11 統合型職務支援システム  
取組12 安定した通信環境の整備 取組13 各種機器等整備  
取組14 先端技術の活用 取組15 教育情報化セキュリティ  
取組16 学校の役割 取組17 外部資源の活用  
取組18 外部資源の活用

**基本方向6 教育の情報化に関する推進体制**  
概要 学校が果たす役割の一層の支援を図る  
取組1 資質・能力の三つの柱  
取組2 情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント  
取組3 学校における情報モラル教育 取組4 プログラミング教育の推進  
取組5 教科等の指導におけるICTの活用 取組6 特別支援教育におけるICTの活用  
取組7 教員のICT活用指導力 取組8 教員の研修 取組9 教員の採用  
取組10 ICT活用による働き方改革 取組11 統合型職務支援システム  
取組12 安定した通信環境の整備 取組13 各種機器等整備  
取組14 先端技術の活用 取組15 教育情報化セキュリティ  
取組16 学校の役割 取組17 外部資源の活用  
取組18 外部資源の活用

出典：宮城県教育委員会ウェブサイト

## 文部科学省「高等学校情報科に関する特設ページ」をリニューアル

2022年4月から、高等学校においても新しい学習指導要領がスタートしました。高等学校の各学科に共通する教科情報科については、令和4年度から指導内容をより充実させた共通必修教科目「情報Ⅰ」が開始されました。

以上を踏まえ、文部科学省ホームページ内の「高等学校情報科に関する特設ページ」が大幅にリニューアルされました。これまでの高等学校情報科に関する情報が一元化され、授業・研修用コンテンツや生徒用コンテンツ等の充実も図られました。高等学校における情報教育の質の向上に向けて、この特設ページを積極的に活用してください。

**高等学校情報科に関する特設ページ**

2022年4月から、高等学校においても新しい学習指導要領がスタートしました。このページでは、高等学校情報科の最新の情報提供を、おこなっています。

**新着情報**

2022.05.18  
 > 令和4年度ICT活用教育アドバイザー事業の受付を開始しました。  
 > 研修用コンテンツ「活用教育アドバイザー事業」の募集について令和4年5月18日付を掲載しました。

2022.04.27  
 > 令和4年度ICT活用教育アドバイザー事業の受付を開始しました。  
 > 令和4年度ICT活用教育アドバイザー事業の募集について令和4年5月18日付を掲載しました。  
 > 研修用コンテンツ「活用教育アドバイザー事業」の募集について令和4年5月18日付を掲載しました。

2022.04.22  
 > 研修用コンテンツ「活用教育アドバイザー事業」の募集について令和4年5月18日付を掲載しました。  
 > 研修用コンテンツ「活用教育アドバイザー事業」の募集について令和4年5月18日付を掲載しました。

出典：文部科学省

## StuDX Styleで新たなコンテンツが公開されています！

### ①「特別支援学校のICT活用事例」

StuDX Styleの「各教科等での活用」のページに、特別支援学校のICT活用事例が新たに公開されました。今回は、「聴覚障害」における活用事例が3つ紹介されています。

ICTは、学校種や障害の有無を問わず、児童生徒が主体的に学ぶために有用なツールです。加えて、特別な支援を必要とする児童生徒に対しては、その障害の状態や特性、心身の発達の段階等に応じて活用することで、各教科等の学習の効果を高めたり、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導に効果を発揮したりできる重要なツールとなります。また、宮城県においても、特別支援教育におけるICT活用「@MIYAGI Style」のページを開設し、情報提供を行っています。併せてご覧ください。



StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

聴覚障害

- ICTを活用して発表や観察時の支援を行った事例 (PDF:258KB)
- 音声を視覚化して生徒の理解を支援した事例 (PDF:142KB)
- ICTを活用して他校等と交流を行った事例 (PDF:192KB)

出典:文部科学省 StuDX Style



### ② 学校と保護者等との間で確認・共有しておくことが望ましい主なポイント×StuDX Style (ver1.0)

4月号でもご紹介した、「学校設置者・学校・保護者等との間で確認・共有しておくことが望ましい主なポイント」が、StuDX Styleに掲載されている事例とリンクされ、各校の取組の状況にあわせて活用できるように、新たな資料が公開されました。

児童生徒が安全・安心に1人1台端末を利用するために、使用ルールなどを指導するだけでなく、保護者や地域の方々など関係者の理解と協力を得ながら、学校におけるICT環境を整えることが重要です。また、端末を活用した学習活動の土台として、通知内容を学校と保護者とが共通理解を図るだけでなく、児童生徒自身もリテラシーとして習得することが望まれます。以上の取組を支援する資料となっています。是非、ご利用ください。



1-3 端末利用のルール決めと意識化

1-4 はじめてのパスワード指導

1-28 家庭でのICT端末の使い方を考えよう

1-26 話し言葉と書き言葉の指導

出典:文部科学省 StuDX Style



### NHK for School 「@メディア」が公開

メディア・リテラシー教育に活用できます！

4月から「NHK for School」において『アツ！とメディア～@media～』という番組がスタートしました。メディアの特徴を伝え、正しく情報と向き合うことや適切に発信することに必要な力を育てていくことができる番組になっています。

学校生活の中でメディア・リテラシーを身に付けていないことによって起こる様々なトラブルや失敗等を、映像によりわかりやすく伝えていきます。

GIGAスクール時代に求められるメディア・リテラシーを育成していくために、積極的に活用してみてもどうでしょうか。

出典:NHK for School



### 「GIGAスクール構想をAppleと」が公開

iPadを活用した授業づくりに役立ちます！

Appleは4月26日にWebサイト「GIGAスクール構想をAppleと」を公開しました。

教師や教育委員会の方々のために「教科別のiPad授業ガイド」や国内のすぐれた「実践事例が紹介」が掲載されています。PDF資料のダウンロード、映像資料も視聴できます。iPadで新しい授業を作りたいと考えている先生方は必見です。また、「リーダーとIT」のページにおいてiPadの管理運用に役立つ情報が多数掲載されています。

出典:Apple「教育のページ」



【編集後記】今後も先生方のICTを活用した授業づくりを支援する情報を発信していきたいと考えております。なお、Mナビ新聞では皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。

右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。次号もお楽しみに！ [担当:本郷]

